学校番号	T3003

平成３１年度　工業科（くらしの機械・電気系列）

教科	工業	科目	電気実習	単位数	2	年次	2
使用教科書							
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

第二種電気工事士の筆記・実技試験に基づいた練習をおこないます。
特に事故がないように安全に実習をおこなっているかを重点的に確認していきます。

2 学習の到達目標

・電気工事に必要な電気に関する基礎知識を理解し、実際に応用する能力を習得する。
・電気工事に関する基礎的な作業手順を習得する。
・事故が起きないように安全第一で実習をおこなう。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	電気工事の作業に興味・関心を持ち知識を習得しようとする態度。	工事作業をおこなう際に生じるさまざまな問題・疑問を適切に解決しようとする力。	単線図・複線図を理解し、電気工事に関する基礎的な作業手順を習得し問題を解決できる。	電気工事に必要な基礎知識と電気工事に関する基礎的な作業方法を活用して問題を発見・解決するための方法についての理解。
評価方法	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度	実習態度 作品の完成度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	電気工事	○ガイダンス ○電気に関する基礎理論 ○配電理論・配線設計 ○電気機器、配線器具と工事材料・工具 ○電気工事の施工方法 ○検査方法 ○保安に関する法令	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	a:電気工事に必要な知識に興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:屋内電気工事での施工方法、法令などを理解し、安全な設置方法について考えている。 c:単線図・複線図を理解し安全で安心な電気回路を施工するための知識を習得している。 d:電気工事の基礎的な知識を修得するとともに、その知識を応用的に利用できる。	実習態度 作品の完成度
前期	電気工事	○電気工事の基本作業 ・絶縁電線の加工方法 ・ケーブルの加工方法 ・電線接続の方法 ・配線器具及び電気工事用材料・工具の使用方法 ・電気器具への接続 ・電線管(PF 管)への接続と加工 ・端子台への接続 ・配線工事 ・欠陥について	○	○	○	○	a:電気工事に必要な技能に興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:屋内電気工事での施工方法、法令などを理解し、安全な設置方法について考えている。 c:単線図・複線図を理解し安全で安心な電気回路を施工するための技能を習得している。 d:電気工事の基礎的な技能を修得するとともに、その技能を応用的に利用できる。	実習態度 作品の完成度

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。